

竹田市立竹田中学校 【ICT活用の実際、板書の構造化とワークシートの工夫、自立した学習者の育成】

1. ICT活用の実際



2年 数学科⇒1人1人台端末の活用

2. 板書の構造化とワークシートの工夫



カラーで見やすいワークシート



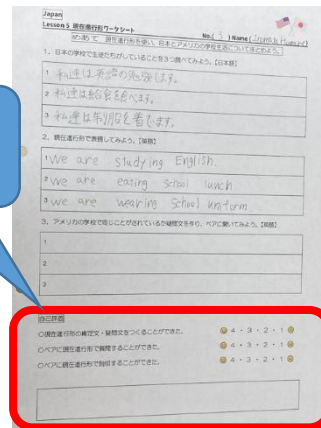
3年 社会科⇒板書の構造化、ワークシートの工夫

3. 自立した学習者の育成



図書館環境の整備

振り返り記入欄



1年 英語科 ⇒ワークシートに振り返り

- 2年の数学科では、三角形の合同条件の学習を1人1台端末を活用し、条件を変えながら三角形の合同条件について思考していました。自分の考えを友だちに説明したり、他の生徒の考えを大型テレビに映したりして有効な活用となっていました。
- 3年の社会科では、授業の流れが整理され、思考の過程が確認できる整理された板書になっていました。また、生徒が記入するワークシートがカラーで見やすいものとなっていました。
- 『自立した学習者の育成』として、読書活動の推進や図書館活用の推進に向けて整備された環境となっていました。おすすめの本、良書100選などの紹介や展示がされていて本に親しむ生徒が増えるような工夫となっていました。また、1年の英語科では、授業の終末に振り返りが記入できるようなワークシートの活用が見られました。